

## 第12期 報告書

平成20年4月1日 ▶ 平成21年3月31日

### 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
剰余金の配当基準日 3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）  
定時株主総会 毎年6月下旬  
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

| 証券会社に口座をお持ちの場合 |                                                                 | 特別口座の場合                                                     |
|----------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 郵便物送付先         | お取引の証券会社になります。                                                  | 〒168-8507東京都杉並区和泉2-8-4                                      |
| 電話お問い合わせ先      |                                                                 | 0120-288-324（フリーダイヤル）                                       |
| お取扱店           |                                                                 | みずほ信託銀行株式会社<br>本店および全国各支店<br>みずほインベスターズ証券株式会社<br>本店および全国各支店 |
| ご注意            | 未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。 | 株券電子化前に名義書換を失念し、お手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。                 |

公告掲載新聞 日本経済新聞

### ■株主様のご住所・お名前等に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等（いわゆる「外字」）が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。なお、特別口座にて管理させていただいております株主様には、平成21年2月に「特別口座開設のご案内」をお送りしており、そのご案内の中のご注意事項で使用文字の制限についてご案内しております。



I'ROM  
HOLDINGS

Quality of Healthy Life

株式会社アイロムホールディングス

〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2  
<http://www.irom-hd.co.jp>



株式会社アイロムホールディングス

証券コード：2372

## 企業理念

## Quality of Healthy Life

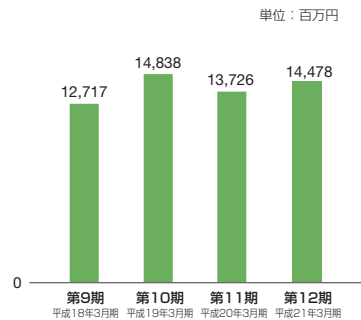
生活者のQOHL向上のために、  
次代の「統合医療」発展に貢献します。

健康の維持・疾病の予防・疾病の治療を、  
あらゆるレベルで一体化し、個人の体質や生活スタイル、  
取り巻く環境に適合した、医療の包括的な考え方を、  
アイロムグループは「統合医療」と定義します。

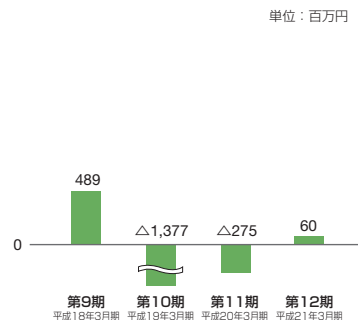
### ◎ビジョン

アイロムグループは、生活者の視点に立って医薬品、医療・健康サービスを  
「統合ヘルスケア」で捉え開発支援・製造・販売、人材育成、情報提供を通じた  
QOHL実現を目指します。

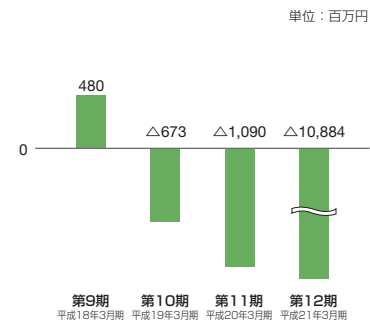
連結売上高



連結経常利益又は経常損失

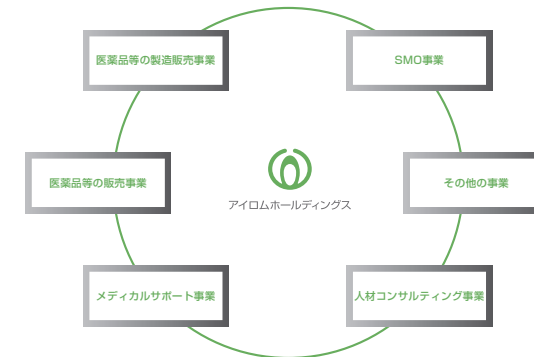


連結当期純利益又は当期純損失



## Message

統合医療サポート企業の  
リーディングカンパニーとして  
トップを目指す。  
それがアイロムグループです。



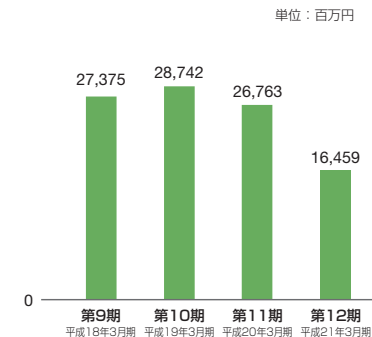
株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループは、平成9年の創業以来、新薬の治験支援事業を主力とし、よりよい医療環境の実現に向けた取り組みに注力してまいりました。当期（平成21年3月期）におきましては、売上高、営業利益、経常利益は前期と比較すると大幅に改善することができ、3期振りに経常黒字を達成したものの、特別損失の計上により最終損益は赤字という結果となりました。このような状況を勘案し、誠に遺憾ながら当期の配当を見送らせていただくこととなりました。株主の皆様のご期待に沿えずこのような結果となりましたことをお詫び申し上げます。

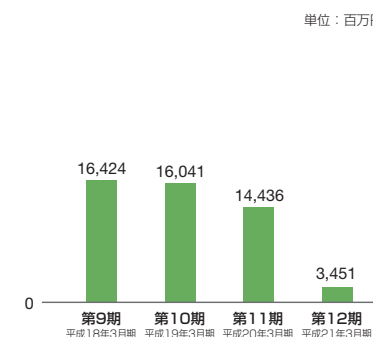
この厳しい結果を真摯に受け止めるとともに、安定的な黒字化を定着させ、早期復配を実現させるために、グループ一丸となって更なる経営体質の強化に努め、企業価値の向上を目指してまいりますので、皆様からの更なるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 三宅 鐵宏

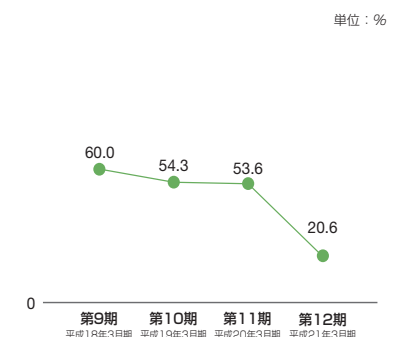
連結総資産



連結純資産



自己資本比率



## Q 当期のビジネス環境と業績について

アメリカの金融危機に端を発する世界的な景気の悪化が日本の経済社会全体にさまざまな影響をもたらしているなか、当社グループの主要顧客である製薬企業は、社会の高齢化に伴う新薬の需要増を見据え、グローバルレベルでの競争激化を背景に大規模な企業統合を推し進めながら、医薬品の研究開発に資源を集中的に投下しております。また、SMO(治験施設支援機関)およびCRO(医薬品開発業務受託機関)の市場は、異業種からの参入が本格化し、再編統合が進むとともに競争が激化しつつも、堅調に拡大を続けております。

こうした状況にあって当社グループでは、統合ヘルスケア事業ネットワークの構築を企業目的とし、主軸であるSMO事業の拡大を中心に安定収益基盤の確立を追求すると同時に、これまでに培ったノウハウを活用してヘルスケア全体を対象とする事業を展開することで、各事業の収益力向上に努めてまいりました。

その結果、当期（平成21年3月期）は、売上高14,478百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は53百万円(前年同期は営業損失430百万円)、経常利益は60百万円(前年同期は経常損失275百万円)となり、前年同期と比較して大幅に改善いたしました。しかしながら、当期純損失は、10,884百万円（前年同期は当期純損失1,090百万円）と

なりました。主な要因は、昨年来の不安定な金融市場の状況などを踏まえ、資産状況やリスク管理を厳格に適用し、より一層に精査した結果、投資有価証券評価損1,352百万円、債務保証損失引当金繰入額1,101百万円、貸倒引当金繰入額6,772百万円、減損損失1,280百万円等をそれぞれ特別損失として計上したことによりです。

## Q 次期の重点的な取り組み方針と見通しについて

次期（平成22年3月期）は、「安定的な黒字化の定着」そして「早期復配への足固め」を経営目標としております。当社グループは、生活者の健康的な生活のために次代の「統合医療」の発展に寄与すべく、多岐にわたる医療、健康分野において事業を展開しておりますが、今後、グループ全体が更なる発展を遂げ、経営目標を達成するためには、各事業を推進する各連結子会社における個別の戦略を、グループ全体における主体戦略として最適化させることが重要であるという認識のもと、共通の価値観の醸成と情報の共有化を徹底することで、グループ一丸となって着実に進んでまいります。

具体的には、SMO事業におきましては、主要な受託領域である「生活習慣病領域」、「高齢者領域」に加えて、「中枢神経系領域」、「癌・先端医療領域」において基幹病院との提携強化を図り、受託数を増加させることで、売上の拡大につながると考えております。また、従来から蓄積してま

いりましたSMOの経験および知識を活用することで、幅広い知識を持った即戦力となる人材を育成し、生産性の向上を目指してまいります。

医薬品等の製造販売事業におきましては、DPC導入病院へのジェネリック医薬品の販売を強化するとともに国内外の製薬企業からの受託製造に対する営業を強化することで売上げの拡大を目指す一方、原価および販売管理費の削減策の実施により利益構造の改革を行ってまいります。

医薬品等の販売事業におきましては、既存店舗における営業戦略により利益体質の強化を目指します。まず、薬剤師の資格を保有する人材に対して教育研修を徹底することで、専門知識の向上を継続させてまいります。また、平成21年6月に施行された改正薬事法に対応した人材を配置するとともに、お客様が必要としている医療情報等をご提供することで、地域の皆様に信頼される薬局としての位置づけを確保し、何度でも足を運んで頂けるような店舗作りに注力してまいります。

人材コンサルティング事業におきましては、薬剤師を中心とした人材に対する需要が増加傾向にあるなか、人材の確保および派遣を継続することで安定した収益基盤を維持してまいります。また、更なる売上げの拡大を目指すために、企業の健康保険組合および健康管理室等、新たな顧客の開拓に注力してまいります。

メディカルサポート事業におきましては、既存のクリニ

ックモールにおける賃貸収入の確保、また、その他の事業におきましては、製薬企業による医薬品研究開発に対する資源の投下を背景としたCRO市場の拡大に伴いCRO事業による製薬企業支援の強化を推進してまいります。

以上のことから、次期（平成22年3月期）は、売上高14,900百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益210百万円(前年同期比292.2%増)、経常利益160百万円（前年同期比164.2%増）を見込んでおります。

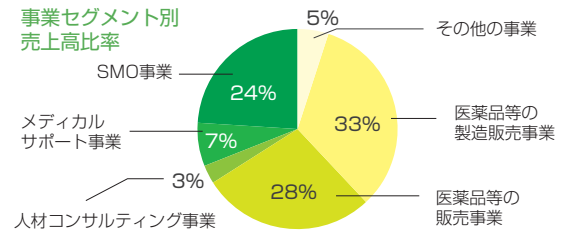
## Q 株主還元の方針について

前期から継続して費用の圧縮および経営の効率化に努めた結果、当期は、3期振りに経常黒字を達成することができたものの、特別損失の計上により最終損益は赤字という結果となりました。このような状況を勘案し、遺憾ではありますが、当期の配当を見送らせていただくこととなりました。

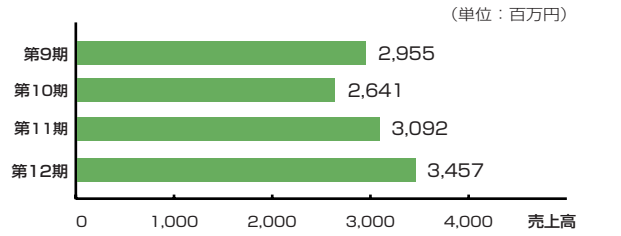
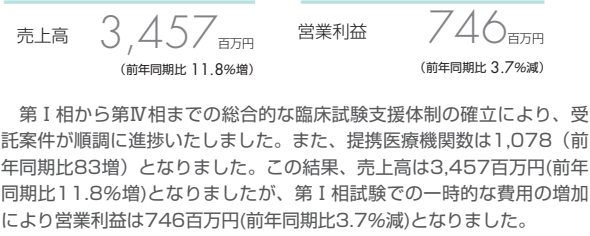
当社グループでは、従来から株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識し、安定的かつ継続的な配当の実施を目指してまいりました。配当の方針につきましては、今後の成長に向けた内部留保とを総合的に勘案した上で、可能な限り株主の皆様には利益を還元していくことには変わりはありません。

引き続き、企業価値の向上と早期復配を念頭に収益力の更なる向上を目指してまいりますので、株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

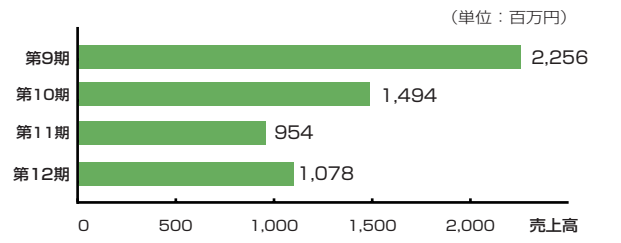
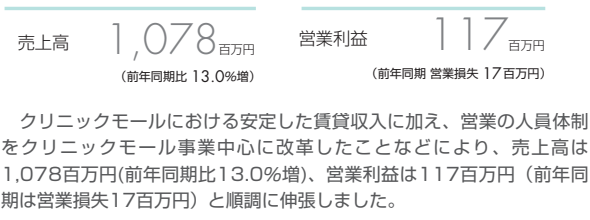
# Review of Operations 事業概況



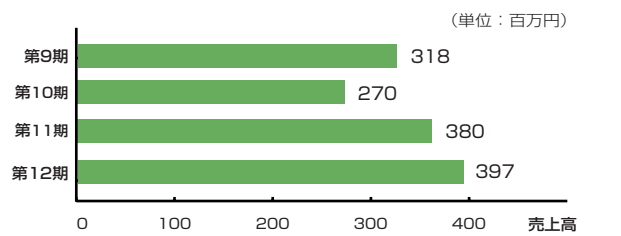
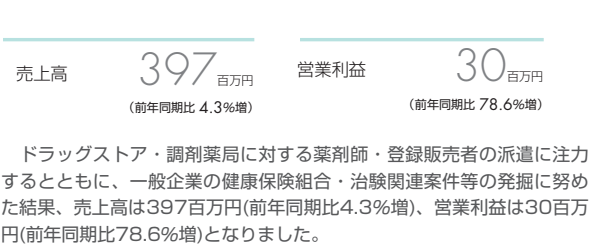
## SMO事業 ・ 医薬品等の臨床試験の実施に係る支援



## メディカルサポート事業 ・ クリニックモールの開設・運営

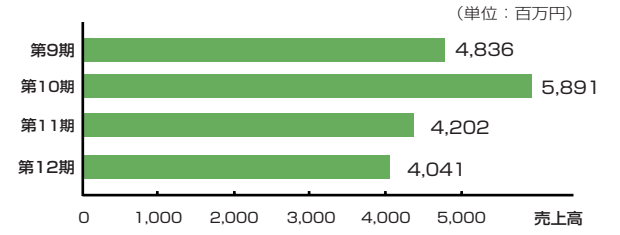
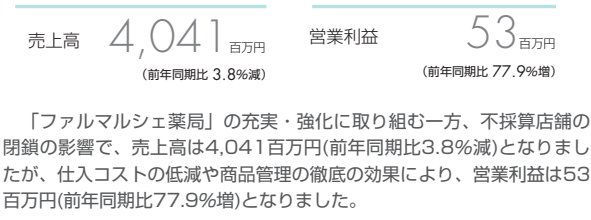


## 人材コンサルティング事業 ・ 人材派遣・人材紹介 ・ 教育研修

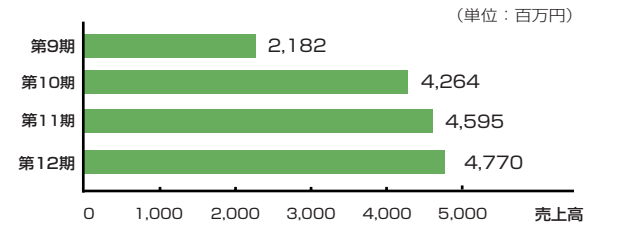
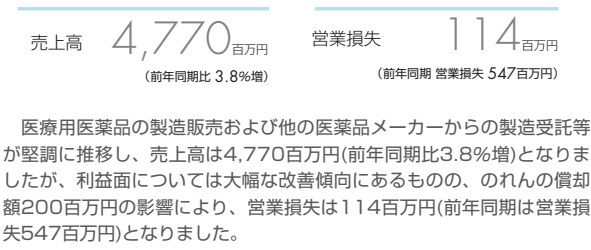


**用語解説** **CRC** Clinical Research Coordinatorの略で、治験コーディネーターとも言われ、治験実施医療機関において治験が適正かつ円滑に実施できるよう支援する専門スタッフ。治験責任医師または治験担当医師の指示のもとで、医学的判断を伴わない治験業務をサポートします。

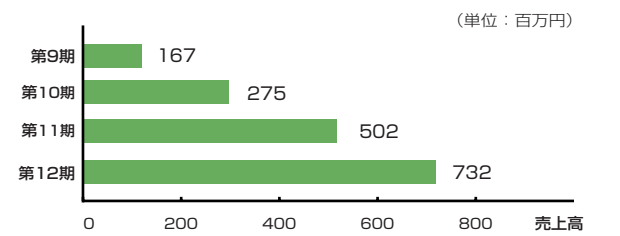
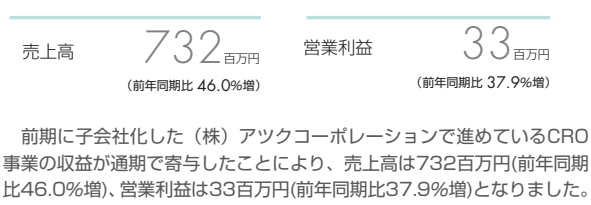
## 医薬品等の販売事業 ・ 調剤薬局やドラッグストアにおける医薬品や健康食品の販売



## 医薬品等の製造販売事業 ・ 医療用医薬品の製造・販売 ・ 医療用医薬品の受託製造 ・ ウォーターサプリメント事業



## その他の事業 ・ モニタリング業務を中心とした医薬品開発の支援 ・ 医薬品開発に関するコンサルティング



**用語解説** **DPC** Diagnosis Procedure Combinationの略で、患者の病名や症状をもとに手術などの診療行為の有無に応じて、厚生労働省から定められた1日あたりの診断群分類点数をもとに医療費を計算する会計方式です。

連結財務諸表（要約）

Point

① 収益力向上に努め、売上高、利益ともに大幅改善

売上高は前年同期比5.5%増。営業利益、経常利益ともに計上、前期の営業損失および経常損失から大幅に改善しました。

② 特別損失を計上し当期純損失は拡大

厳しい経済環境を踏まえ、資産状況やリスク管理を厳格に適用し、より一層に精査した結果、投資有価証券評価損、債務保証損失引当金繰入額、貸倒引当金繰入額、減損損失などを特別損失として計上、当期純損失は前年同期から膨らみました。

連結貸借対照表

（単位：百万円）

| 科 目       | 第11期<br>平成20年3月31日現在 | 第12期<br>平成21年3月31日現在 |
|-----------|----------------------|----------------------|
| 資産の部      |                      |                      |
| 流動資産      | 17,710               | 7,709                |
| 現金及び預金    | 2,736                | 1,519                |
| 受取手形及び売掛金 | 2,947                | 2,900                |
| その他       | 12,536               | 6,426                |
| 貸倒引当金     | △ 510                | △ 3,137              |
| 固定資産      | 9,052                | 8,749                |
| 有形固定資産    | 4,388                | 6,011                |
| 建物及び構築物   | 2,129                | 3,013                |
| 土地        | 1,428                | 2,360                |
| その他       | 830                  | 637                  |
| 無形固定資産    | 902                  | 571                  |
| 投資その他の資産  | 3,762                | 2,167                |
| 投資有価証券    | 1,517                | 243                  |
| 繰延税金資産    | 257                  | 106                  |
| その他       | 2,235                | 6,078                |
| 貸倒引当金     | △ 249                | △ 4,261              |
| 資産合計      | 26,763               | 16,459               |

| 科 目       | 第11期<br>平成20年3月31日現在 | 第12期<br>平成21年3月31日現在 |
|-----------|----------------------|----------------------|
| 負債の部      |                      |                      |
| 流動負債      | 11,179               | 10,808               |
| 支払手形及び買掛金 | 1,256                | 1,514                |
| 短期借入金     | 7,449                | 6,883                |
| 未払法人税等    | 81                   | 65                   |
| その他       | 2,392                | 2,345                |
| 固定負債      | 1,147                | 2,198                |
| 負債合計      | 12,327               | 13,007               |
| 純資産の部     |                      |                      |
| 株主資本      | 14,412               | 3,434                |
| 資本金       | 6,286                | 6,286                |
| 資本剰余金     | 7,577                | 7,577                |
| 利益剰余金     | 549                  | △10,429              |
| 評価・換算差額等  | △ 57                 | △ 37                 |
| 少数株主持分    | 80                   | 54                   |
| 純資産合計     | 14,436               | 3,451                |
| 負債純資産合計   | 26,763               | 16,459               |

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

（単位：百万円）

| 科 目            | 第11期<br>平成19年4月 1 日から<br>平成20年3月31日まで | 第12期<br>平成20年4月 1 日から<br>平成21年3月31日まで |
|----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 売上高            | 13,726                                | 14,478                                |
| 売上原価           | 9,739                                 | 10,165                                |
| 売上総利益          | 3,987                                 | 4,313                                 |
| 販売費及び一般管理費     | 4,418                                 | 4,259                                 |
| 営業利益または営業損失（△） | △ 430                                 | 53                                    |
| 営業外収益          | 321                                   | 150                                   |
| 営業外費用          | 166                                   | 143                                   |
| 経常利益または経常損失（△） | △ 275                                 | 60                                    |
| 特別利益           | 111                                   | 190                                   |
| 特別損失           | 861                                   | 10,874                                |
| 税金等調整前当期純損失（△） | △ 1,024                               | △ 10,623                              |
| 法人税、住民税及び事業税   | 75                                    | 78                                    |
| 法人税等調整額        | 89                                    | 208                                   |
| 少数株主損失（△）      | △ 98                                  | △ 25                                  |
| 当期純損失（△）       | △ 1,090                               | △ 10,884                              |

連結株主資本等変動計算書

（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

（単位：百万円）

| 科 目                              | 株主資本  |       |         |         | 評価・換算差額等         |                | 少数株主<br>持分 | 純資産合計   |
|----------------------------------|-------|-------|---------|---------|------------------|----------------|------------|---------|
|                                  | 資本金   | 資本剰余金 | 利益剰余金   | 株主資本合計  | その他有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等合計 |            |         |
| 平成20年3月31日残高                     | 6,286 | 7,577 | 549     | 14,412  | △ 57             | △ 57           | 80         | 14,436  |
| 連結会計年度中の変動額                      |       |       |         |         |                  |                |            |         |
| 剰余金の配当                           |       |       | △ 93    | △ 93    |                  |                |            | △ 93    |
| 当期純損失（△）                         |       |       | △10,884 | △10,884 |                  |                |            | △10,884 |
| 純資産の部に直接計上された<br>その他有価証券評価差額金の増減 |       |       |         |         | 19               | 19             |            | 19      |
| 株主資本以外の項目の<br>連結会計年度中の変動額(純額)    |       |       |         |         |                  |                | △ 25       | △ 25    |
| 連結会計年度中の変動額合計                    | —     | —     | △10,978 | △10,978 | 19               | 19             | △ 25       | △10,984 |
| 平成21年3月31日残高                     | 6,286 | 7,577 | △10,429 | 3,434   | △ 37             | △ 37           | 54         | 3,451   |

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位:百万円）

| 科 目              | 第11期<br>平成19年4月 1 日から<br>平成20年3月31日まで | 第12期<br>平成20年4月 1 日から<br>平成21年3月31日まで |
|------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,339                               | △ 780                                 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,781                               | 608                                   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 53                                  | △ 562                                 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 1                                   | △ 0                                   |
| 現金及び現金同等物の増減額    | △ 3,176                               | △ 734                                 |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 5,431                                 | 2,254                                 |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 2,254                                 | 1,519                                 |

  営業活動によるキャッシュ・フローは、主に営業貸付金が645百万円増加したことにより、780百万円の支出となりました。  
  投資活動によるキャッシュ・フローは、主に定期預金の払戻による収入が482百万円、貸付金の回収による収入が322百万円それぞれあったことにより、608百万円の収入となりました。  
  財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の返済550百万円により、562百万円の支出となりました。  
  以上の結果、現金及び現金同等物の当期末残高は、前年同期と比べ、734百万円減少し、1,519百万円となりました。

Corporate Data 会社の状況

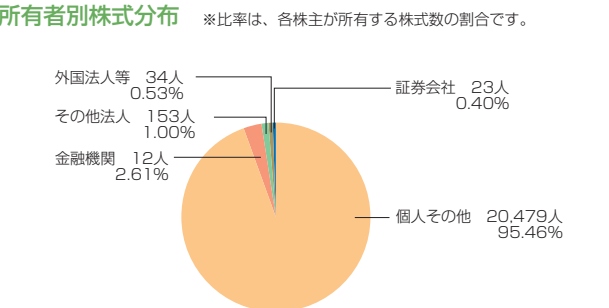
|         |                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会社概要    | (平成21年3月31日現在)                                                                                                                                                                                                                               |
| 会社名     | 株式会社アイロムホールディングス                                                                                                                                                                                                                             |
| 設立年月日   | 1997年(平成9年)4月9日                                                                                                                                                                                                                              |
| 資本金     | 6,286百万円                                                                                                                                                                                                                                     |
| 本社所在地   | 〒141-0032<br>東京都品川区大崎1-2-2                                                                                                                                                                                                                   |
| 連結従業員数  | 526人                                                                                                                                                                                                                                         |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第一部                                                                                                                                                                                                                                 |
| 会計監査人   | 監査法人ナカチ                                                                                                                                                                                                                                      |
| グループ会社  | 株式会社アイロム<br>株式会社アイロムスタッフ<br>株式会社アイロムメディック<br>株式会社アソーニング<br>株式会社アイロムビジネスデベロップメント<br>株式会社アイロムロハス<br>株式会社シニアライフプラン<br>アイロム製薬株式会社<br>株式会社アイオロパス<br>株式会社アイロムエーアイ<br>株式会社アポテカ<br>株式会社ビューティアンドヘルスリサーチ<br>株式会社ウイング湘南<br>株式会社アイクロス<br>株式会社アツクコーポレーション |

|         |                |
|---------|----------------|
| 経営体制    | (平成21年6月26日現在) |
| 代表取締役社長 | 三宅 鐵宏          |
| 常務取締役   | 深田 洋           |
| 取締役     | 池本 康二          |
| 取締役     | 秀島 直樹          |
| 取締役     | 小島 修一          |
| 常勤監査役   | 佐野 隆           |
| 常勤監査役   | 松島 正明          |
| 監査役     | 平間 和郎          |
| 監査役     | 加瀬 岩男          |

|          |                |
|----------|----------------|
| 株式の状況    | (平成21年3月31日現在) |
| 発行可能株式総数 | 3,728,168株     |
| 発行済株式の総数 | 935,142株       |
| 株主数      | 20,701名        |

大株主

| 株主名                                        | 持株数(株)  | 持株比率(%) |
|--------------------------------------------|---------|---------|
| 森 豊隆                                       | 475,425 | 50.83   |
| 森 利恵                                       | 82,500  | 8.82    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)<br>取締役社長 小田 一穂 | 18,124  | 1.93    |
| 森 龍介                                       | 7,500   | 0.80    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)<br>取締役社長 小山 登志雄    | 3,190   | 0.34    |
| アイロム従業員持株会                                 | 2,949   | 0.31    |
| 藤川 久富                                      | 2,826   | 0.30    |
| 松元 寿子                                      | 2,000   | 0.21    |
| 石田 祐雄                                      | 2,000   | 0.21    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)<br>取締役社長 小田 一穂   | 1,765   | 0.18    |



Column ～アイロムグループについて、もっと知ってほしい!～ “SMO”って何?

**SMOとは?**…Site Management Organizationの略で、一般的に「治験施設支援機関」と訳されています。

治験を実施すると、医療機関では診察や検査の他にデータの整理や種々の書類管理など、様々な業務が発生します。(株)アイロム、(株)アイオロパス、(株)アイクロスはSMOとして、治験を実施する際に医療機関で生じる様々な業務のうち、医学的判断を伴わない業務全般をお手伝いしています。

地域に密着した比較的小規模な病院や開業医の皆様の治験参加をSMOが支援することによって、治験を効率よく実施することが可能になり、治験業務全体の品質向上・スピードアップにつながります。

